

2022年度 佐久長聖高等学校 学校関係者評価

目指す学校像	教育理念「自由と愛」のもと、生徒一人ひとりの個性を尊重し、楽しく充実した学校生活を通して、生徒たちが魅力的な人間に成長できる環境整備を積極的に推進する。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 魅力ある授業を生徒に提供できるための教科指導の研鑽に努める。 生徒の進路実現に向けて、進路指導体制の発展に努める。 生徒との前向きな対話のある 生活指導・学級運営を行う。 心身ともに健康で明るい学校生活を送れるよう、生徒の人権を尊重し安心安全な学校づくりを進める。 学校の教育活動を生徒や保護者、本校志願者、地域に対し、幅広く情報発信を行う。
------	---

	評価項目	評価の観点	評価等
1	学習指導 進路指導	生徒の学ぶ意欲を引き出し、主体的に取り組む態度を育む授業が行えたか。	生徒たちが意欲的に学ぶことができるよう工夫をしていることがわかった。先生たちは授業準備にかなり時間を費やすようなので、例えばある先生の得意分野の授業をオンラインで流して他のクラスの生徒も参加できるようになどして分担してみたらどうか。
		問題発見力、課題解決力、表現力、コミュニケーション能力を養う授業を展開できたか。	発言が積極的になったり、他者と協働しようとする生徒が増えたりと成果も出てきているようだ。特定の生徒だけではなく、全体を巻き込む工夫をさらにしてほしい。上の観点と同様に、1人の先生で全部をやるのではなく、先生方でうまく分担しながらやってもらいたい。
		生徒の希望進路を実現するために、大学入試についての研究を行い、生徒個々に対応した指導が行えたか。	大学入試が変わっている中、その研究をして生徒へ対応してもらっている。総合探究の活動が大学入試にいかされ・必要となるのであれば、その活動が部活動の試合と重なった場合は、試合に参加するよりも総合探究を優先させるべき。
		大学のさらに先を意識しながら進路を考えられるようなキャリア教育や進路指導を実践していたか。	強化部員が部活動引退後にモチベーション低下することが多いので、引退後の次の目標をしっかり持てる指導をしてほしい。部活動の指導の中にも、技術だけではなく将来につながるようなキャリア教育を入れてもらいたい。
2	生徒指導	校内外問わず、いじめ・暴力・SNSトラブルなどのない安心・安全な学校を送るための啓発活動を行い、情報収集を行えたか。	生徒指導は1人の先生に集中すると疲弊してしまい大人も心の病気になるので、うまく分担してやってもらいたい。何か困ったことがある生徒の駆け込み寺のようなものがあるといい。SNSトラブルなどに対しては外部の協力を入れてもよいのでは。
		生徒に体罰や暴言と捉えられるような言動を行わなかったか。	特に問題は出ていないようであるが、引き続き生徒たちが安心して学校生活を送れる環境づくりに努めていただきたい。
3	保護者連携 地域連携	保護者や外部からの声に対してきちんと対応・返答できたか。	夜遅くや休日にも保護者対応をしてもらっていることは大変ありがたく、先生たちがご苦労されていることがわかる。保護者に惑わされすぎないように、ブレないところはブレないでほしい。色々な活躍は地元民として誇らしく、応援したい。
		ホームページ・Classi等で積極的に学校・学年・学級・クラブ等の情報発信ができたか。	来年度からの新コース開設のことなど、地元にも伝わってこない情報もある。私立高校だからこそもっと学校の特徴を出して、そのPRを積極的にしたほうがよい。